

令和 7 年 6 月 2 日

長野県知事 様

令和 7 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

協定期間	令和 5 年度から令和 7 年度	
会社名	株式会社 志摩建設	
住所	〒384-0411 佐久市 清川 255-1	
代表者名	代表取締役 志摩 信夫	
業種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
担当部署	工事部	
担当者名	市川 正治	
連絡先	T E L	0267-82-3094
	F A X	0267-82-7475
	電子メールアドレス	smk-m.ichikawa@dance.ocn.ne.jp
ホームページアドレス	http://www.shima-kensetsu.net	

1 産業廃棄物 3 R 実践方針

- ・ 産業廃棄物発生を抑制するための計画を各現場の状況に応じて策定すると共に随時情報収集にあたり、現場での反映に努める。
- ・ 産業廃棄物の適正処理を推進するために、社内教育において意識の向上を図り、現場で確実に実践する。

2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	令和 7 年度目標値	令和 6 年度実績値	令和 5 年度実績値	令和 4 年度実績値
総排出量の推移 (㊦・kg・m ³)	300	271	304	698
リサイクル量の推移 (㊦・kg・m ³)	300	271	304	698
売上高の推移 (円)	150,000,000	116,000,000	146,000,000	196,000,000

3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

廃棄物の排出抑制を図るために工事着手前の計画段階においては、現場の調査から得られた結果を基に設計との整合を確認のうえ、端材等の発生を抑える方法を検討し現場に反映させる。

工事の実施段階においては、社内管理基準を設けることで工程ごとの精度を高め、随時確認及び見直しをすることにより計画した目標を達成させる。

資材調達においては環境配慮品や再利用品が活用できる場合は積極的に利用する。

工事現場だけでなく、事務所においても分別の徹底やコピー用紙の両面使用や情報通信機器の活用等により、最終処分となる廃棄物の縮減を推進及び継続する。

エコアクション 21 による環境経営活動の継続、SDGs の目標(12)達成に向けた取り組みを進める。

以下の観点も参考としていただいで構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
- ・処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
- ・従業員教育（研修）計画
- ・リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	令和7年度 目標値	令和6年度 実績値	令和5年度 実績値	令和4年度 実績値
砕石	86	80	89	78
アスファルト	100	100	100	100
全体	88	84	90	79